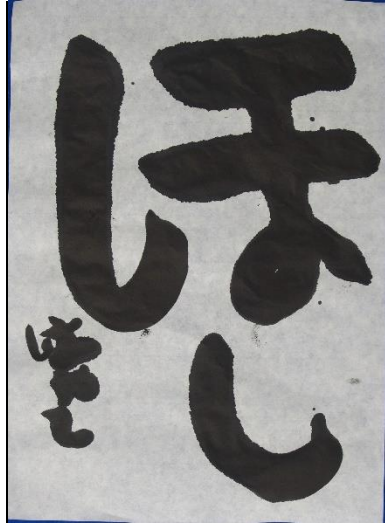
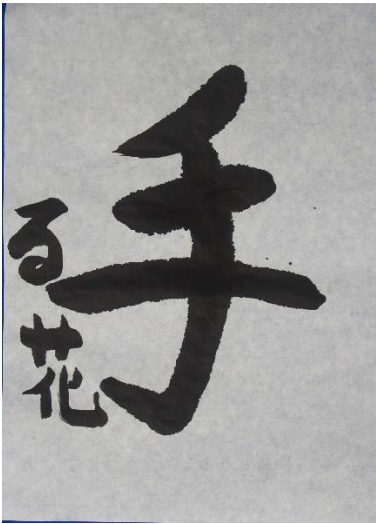


年中 S

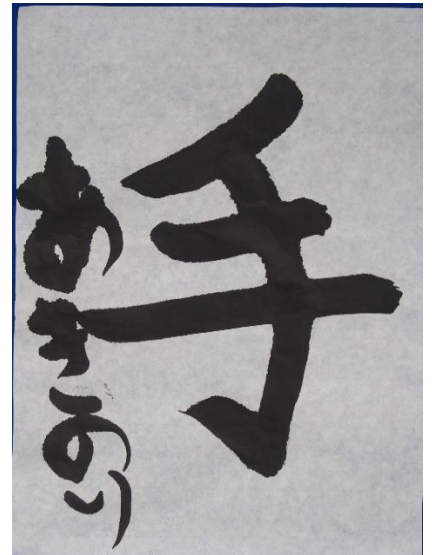


年長 H

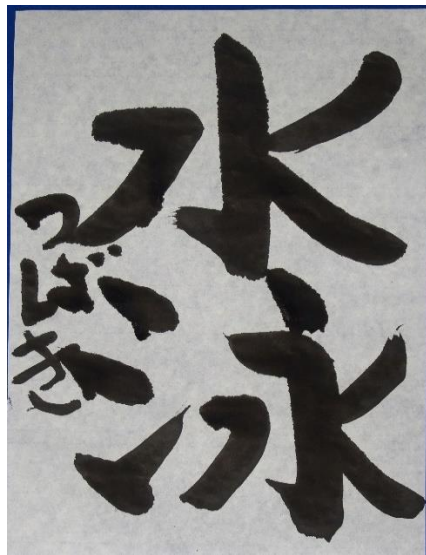


2年 R

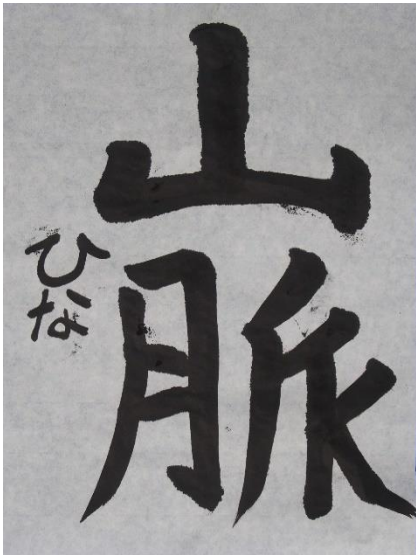
Sくん 「ほ」の曲がりの筆づかいが難しいのによくがんばっています。のびのびと書いていますね。
 Hくん 墨をたっぷりふくませて、堂々と大きな気分で書いていますね。名前もうまくおさめましたね。
 Rさん 生き生きとした、あたたかい線です。お手本をよく見、筆を立てて、ていねいに書いています。



2年 A



3年 T



4年 H

Aくん 紙いっぱい、思い切って伸び伸びと書くことができました。筆先まで心がこもっていますね。
 Tさん 迫力のある力強い作品です。自信を持って、堂々と元気いっぱい表現できていますね。
 Hさん 一本の線にも心を込めて集中して書き、中心が通っています。「脈」の字の筆づかいが美しい。

【書き方の基本】

○点はていねいに。特に、方向、形、大きさを考えてじっくりとていねいに書いて下さい。

○左はらいは速く。といっても筆のいれ方はゆっくりといれてしつかり立ててからぐつとハネます。字によってはさつとハネたり、じっくりと長くハネたりします。一般に速くということです。

○右はらいはゆっくり。ゆっくりじっくりといいて最後のハネは速くします。

○ハネ速く。ハネは速くといっても始めからでなく、特に最後のピンとしたところを速くさつとハネますと全体が生き生きとできます。

○横はゆうゆうと、起筆にはいろいろと方法もありますが、筆を入れたら、少し引いて穂先を立てますから、少しゆっくりします。

○縦はどつしりと。縦は柱ですからゆっくりいれて、体ごとじっくりと引いてしつかりとめて下さい。

○画数の多い字は細目に、画数の少ない字は小さめに太く。

○画数の多い字の筆の入れ方や曲げるところや線は互いにゆずりあうように書きます。

○作品は形より線質をみる、強さ、のび、厚さ、勢い等。

◎とにかく手本を観ること、筆を立てること、体で書くこと、の三つを護っていたらひとりで作品は出来ていきます。「生命の子供」誌